

第10回やましろ未来っ子小学校EKIDEN

くすのき小学校駅伝部 6年生チーム

大会新 V



▲ 優勝した同校の駅伝メンバーたち

駅伝部の練習風景 ▶

京都府立山城総合運動公園で12月3日、「第10回やましろ未来っ子小学校EKIDEN」が開催され、くすのき小学校の6年生チームが、大会記録を12秒更新する40分14秒で、市内初の優勝を飾りました。

同大会は、子どもの体力・運動能力の向上、競技スポーツの振興を図ることを目的に、同大会実行委員会が主催。山城地域内から28チームが出場し、全6区間約10・6kmのコースを駆け抜けました。

同校では、5年生の1月に駅伝部を結成。同大会の優勝を目指し、「奇跡を起こすぞ」を合言葉に、先生たちの熱心な指導のもと毎日練習に励んできました。

大会当日、「途中から優勝できるかと思った」と話す1区の稲里駿君。5



区で初めてトップに立った平川天雅君は「ここまで来たら勝とうと、仲間を信じてたすきをつなぎました」と話すなど、チーム全員が持っている力を存分に発揮し、見事勝利をつかみました。

駅伝部の6年生は、校内マラソン大会をもって走り納め。今後について、3区を走った村上義人君は「今の5年生も優勝できるように練習を手伝いたい」と話し、すでに次の大会を見据えています。

ペタンペタン ヨイショ! もちつきで三世代交流

八幡小学校で12月11日、「三世代交流もちつき大会」が開催され、約340人が来場しました。

同大会は、子、親、祖父母の三世代が一堂に集まり、つきたてのもちを味わいながら地域で交流してもらおうと、八幡小学校区福祉委員会が主催。区内の老人会やPTA、子ども会などの協力により、毎年行われています。

屋外で行われたもちつきでは、子どもたちが同会員と一緒に返し手の動きに合わせてもちをつくと、観客たちが「ヨ

イショ！」と掛け声をあげ、もちつきを盛り上げていました。

体育館内では、今か今かつきたてのもちが出来上がるのを待つ子どもたちの姿が見られ、きなこもちやあんもち、ぜんざいといった、もちづくしのメニューを家族や友だちと一緒に笑顔でほお張っていました。また、会員たちが家庭菜園などから持ち寄った野菜をふんだんに使った豚汁も振る舞われ、来場者はおいしそうに味わっていました。



もちつきをする子どもたち

まちの話題

「このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。」

茶室でお茶を楽しむ参加者たち(松花堂)



お茶の京都イベント

松花堂、四季彩館

11月27日、「お茶の京都プレイベント」が松花堂庭園・美術館と四季彩館で行われ、市特産の碾茶を使ったイベントが開催されました。

府では、お茶の京都構想に基づき、宇治茶をテーマにお茶生産の景観維持や茶産業の振興、お茶文化の発信を進めています。本市も、平成29年度にターゲットイヤーを迎えるお茶の京都の取り組みとして、関係団体と連携し、茶会などのプレイベントを開催しました。

また、四季彩館では、お茶の銘柄を当てる「茶香服大会」に40人が参加。八幡碾茶や宇治玉露など5種類のお茶を、順番を変えながら5回飲み比べ、正解数を競いました。

茶香服大会に参加した森田千代子さんは「おいしいお茶を和やかな雰囲気味わえて楽しかったです」とこやかに話していました。

茶香服や点心堪能

松花堂では茶会が開催され、参加者は、庭園内の茶室にて、八幡産碾茶を加工した抹茶「浜の風」(市長が命名)で一服。同館別館で点心にも舌鼓を打つなど、秋のひと時を穏やかに過ごしていました。

心も体もほっこり 鍋給食

橋本小5年生

橋本小学校で12月15日、「鍋給食」が行われ、5年4組では児童30人が先生たちと一緒に鍋を囲みました。

市内の小学校では、毎年冬になると、5年生を対象に鍋給食が実施されています。

今年度は昨年度に続き、人気のカレー鍋。各班のテーブルには事前に調理員が具材や鍋、ガスコンロを用意。児童たちの「いただきます」を合図に、コンロに火が付けられました。鍋蓋のすき間から湯気が立ち、カレーの香り



具材を器によそう児童たち

が室内を包み込むと、児童たちからは「おいしい」「良いにおい」という声が聞こえてきました。

いよいよ待ちかねた瞬間。鍋蓋が取られると、児童たちは、程よく煮立ったスープから器に豚肉やソーセージ、キャベツやタマネギをよそい、おいしそうに味わっていました。ほとんどの具材を平らげると、最後はシメの中華めん。お腹いっぱい食べ、みんなでしゃべりながら身も心も温まる給食を堪能しました。

同組の川口涼太君は「鍋給食を楽しみにしていた。特にめんとソーセージが美味しかった」と大満足でした。